

大和市つどいの広場事業

# こども～る鶴間通信



Insta

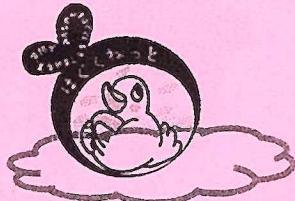


Mail



URL

2023.12.1 こども～る鶴間発行



《運営》

認定NPO法人

地域家族しんちゃんハウス

利用対象者 ☆講習会

★乳幼児：0～3歳児(誕生日から最初の3/31まで)と親(保護者)

★妊婦さん

## 12月の予定

《お問い合わせ》

電話：090-3685-2288(こども～るフォン)

場所：イオンモール大和4F(ライトコート側)

日	月	火	水	木	金	土					
前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半
31 お休み	栄:栄養士 助:助産師 看:看護師 子:子育てアドバイザー 経:子育て経験者 保:保育士	☆こども～る鶴間のライトはなぜ暗くてあるかご存じですか? 赤ちゃんの脳活動に最適にしてあるからです。大人は明るいのが良いかもしれません、赤ちゃんは違います。光の刺激が強かったり多かったりすると興奮してしまうのです。			保・教	保・経	看・保	保・経			
1										2	
3	4 	5 	6	7 	8  A(13:35～16:35)	9					
10	11	12  B(14:05～16:05)	13 	14 	15	16 					
17	18 	19 	20 	21 	22	23 					
24	25	26	27 	28	29 お休み	30 お休み					



保健師による育児相談  
A(13:35～16:35)  
B(14:00～16:00)



保育士による  
育児相談  
(13:35～16:25)



管理栄養士による  
離乳食教室  
(14:05～15:05)



発育相談  
(14:00～17:45)



歯科衛生士による  
歯磨き教室



保育士/ボランティア  
による手遊び  
(10:30～11:00)



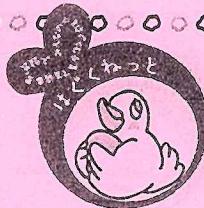
絵本読み聞かせ  
a(10:30～10:45)  
b(14:30～14:45)

### 時間表♪

- ①10:15～11:45 ②11:55～13:25
- ③13:35～15:05 ④15:15～16:25
- ⑤16:35～17:45

人数の制限もありません♪  
(状況により制限の場合もあります)

世の中に子育てほど尊い仕事はありません。私達の未来を創る事であり、未来の幸せを可能にする仕事だから。



～笑顔ではぐくねっと～9月のスキルアップ講座より

# ケアの人間関係と居場所づくり

8月に林先生の「察する」をテーマに実施したスキルアップ講座にも関係する、今回のテーマ。日本の子育て文化で多くを求められる「察する」力。子育てだけでなく、夫婦関係など関係性が深くなるほど、この「察する」場面が増えてくるのが日本の文化の特徴とも言えます。察する力は家庭だけでなく社会、地域においても重要です。看護系大学の講義で語られる看護師の専門性について考えることから、私たちの生活をもっと豊かにするヒントが見えてきます。

●ケアの本質は、苦しむ人を受容して「看る」こと●

看護師は医者とは違った視点でケアと治療に関わる専門職です。医師の補助的な医療行為や患者の介助・お世話はもちろん、患者との意思疎通や患者の状態の観察が重要な役割です。患者の常日頃の状態を知って

いなければ、異変が発生したことに気づくのも難しくなりますし、患者と日々コミュニケーションを図り、把握できている「いつもの状態」から変化がないかを観察することは、つねに患者と接する看護師にしかできないことです。そして患者に寄り添い繋がることで患者の自然治癒力を湧き起こさせたり、生命力が回復する効果をもたらす役割もあります。また、人間関係を繋げる役割も担っています。医師と患者、患者と家族、医師と家族、それぞれの間には看護師がそっと寄り添い「つなげる」役割をしているのです。ケアとは「つながる」ということです。



## ●貧しい社会→自助型孤立社会へ「つながり」の消滅●

昔は「人間は完璧ではない」という文化が無意識に皆の心の中にありました。「未完成であることは恥ずかしくない、仕方のないことだ」と、会社に入ると先輩が教えてくれるものでした。地域と家庭は仕事をする場所で、「お互い様」の生活感覚が満ち溢っていました。生活の苦しさは感じても孤独は感じない、地域そのものに居場所がありました。しかし、1990年代頃から自助型孤立社会（自分のことは自分で）が到来、地域社会が助け合う生活の場から、快適な消費の場へと大きく変貌していきます。そしていつしか生活の匂いが地域から脱臭され、家族や地域の縛りから自由になった個人は、欲望をお金で満たす「消費人」へとなりました。自分の付加価値やスペック（学歴、資格、キャリアなど）を磨き、自分の市場価値を高めることが先決で、無条件でつながる相手や支えてくれる仲間がいなくなりました。しかし人とはつながりたいという欲求はあるので、それを悪用する闇バイトなど現代の社会問題へと発展していきます。

## ● 地域につながりを戻す居場所づくり ●

では現代においてどうやって居場所やつながりを取り戻せば良いのか？社会全体が意識して子供の居場所を作ろうとしないと、永遠に若者にとっての息苦しい時代は終わらないことを、もっと社会全体で自覚すべき危機的状況です。

- 1 ○○カフェを地域にたくさん作る
  - 2 多世代が集う場所（子供や高齢者を保護膜で囲い込まない）
  - 3 お互いの自尊感情を大事にする
  - 4 出入り自由の、ゆるやかなつながりのある場所



厳しい社会の中では傷ついた心を吐き出しても癒されることはありません。特別な場所や整った綺麗な場所でなくても良い、止まり木のように少し疲れた時にフッと少し休憩できる場所こそが現代における必要な居場所なのだと思います。